

おれんじ通信

2

知って支える認知症

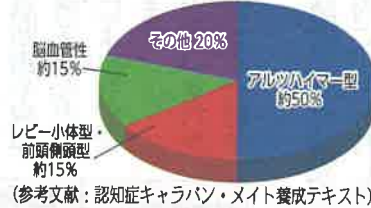


認知症について

疾患の理解①

認知症とは、自覚のない「もの忘れ」のために生活に支障が生じてきた状態のことです。原因はたくさんありますが、代表的なのがアルツハイマー型です。脳が変性のために小さくなり「同じことを何度も言ったり聞いたりする」「探し物が増える」などが主な症状で、ゆっくりと進行します。一方、脳梗塞や脳出血など脳の細胞がダメージを受けることで生

認知症を引き起こす主な病気



じるのが、脳血管性認知症です。症状は血管の障害に伴い、階段状に進む傾向があります。動脈硬化による血流障害は加齢に伴い必ず起こりますので、アルツハイマー型と合併していることもよくあります。

脳血管の病気がある脳



脳の中の血管が詰まったり切れたりして、脳に栄養や酸素が届かず、一部の細胞が死んでしまう

アルツハイマー病の脳



脳の細胞が少しずつ死んで脳全体が縮んでしまう

(出典：認知症サポーター養成講座テキスト)

今回は「認知症について」疾患の理解②」です。なお、おれんじ通信への意見をお待ちしています。

問 地域包括ケア推進

課 06(4309)

3013、FAX06(4

309)3848